

住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会

2019 年度事業計画

本会の役割

住民参加型在宅福祉サービスは「自分たちの住むまちを、自分たちの手で住み続けられるようにしたい」という思いのもと、住民同士の助け合い、支えあいにより、暮らしと地域を拓いていくことを目的に、制度によるサービスが徐々に整備される中で、それらとも連携し、あるいは自らその担い手となり、支援を求める一人ひとりに寄り添いながら、画一的ではない温かみのあるサービスを提供してきました。

われわれ、住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会は、全国の住民参加型在宅福祉サービス団体同士のネットワークを作り、それを活かしながら、住民参加型在宅福祉サービスの活動を推進します。

(「住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会のあり方(2017.3)」より)

1. 全国連絡会運営に関わる会議等の開催

(1) 総会・行政説明

当年度の事業報告案や次年度事業計画案等について協議します。

また、住民参加型在宅福祉サービスの推進に関して、全国の状況の情報共有や今後の活動において重要となる視点について意見交換を行います。

あわせて、制度・施策の最新動向について、厚生労働省等からの説明を受け、今後の活動の参考とします。

<開催予定>

- ・日 程：2020年2月19日(水)
- ・会 場：全社協会議室

(2) 幹事会

各地域で起きている生活課題の情報交換・協議を行うとともに、実践から学び、今後の各団体の活動の参考とします。

適宜、必要に応じて正副代表幹事により、正副代表幹事会を行います。

<開催予定>

- ① 第1回幹事会：2019年6月～7月(予定)
- ② 第2回幹事会：2019年10月23日(水)
(支え合いをひろげる住民主体の生活支援フォーラムと同日)
- ③ 第3回幹事会：2020年2月19日(水)
(総会・行政説明と同日)

2. 担い手の力量向上や団体運営の支援

(1) 支え合いをひろげる住民主体の生活支援フォーラムの開催

食事支援、移動支援の各サービスに関わる全国団体と協働し、地域に必要とされ取り組まれている多様な実践を共有するとともに、団体間の情報交換を通じて、運営に役立つ情報、留意点、専門職や住民との協働のあり方について学びます。

<開催予定>

- ・日 程：2019年10月23日（水）
（前日に生活支援コーディネーター研究協議会を開催予定）
- ・会 場：全社協・灘尾ホール、会議室

(2) 総会・行政説明の開催（再掲）

3. 都道府県・指定都市段階及び全国のネットワークづくりの推進

都道府県・指定都市社協を通じて、団体の活動を把握するとともに、幹事会、フォーラム、日常的な情報交換を通しての全国連絡会のネットワークの活性化を図ります。

4. 制度に関する検討と意見表明

制度の見直し、それらに伴うサービス提供のあり方等に関する情報収集を行うとともに、住民参加型在宅福祉サービス団体の理念や実践を踏まえた意見表明活動等を必要に応じて行います。

5. 住民参加型在宅福祉サービス団体と活動に関する調査・研究

- (1) 支え合いをひろげる住民主体の生活支援フォーラム【再掲】
- (2) 活動実態調査の実施（平成30年度継続事業）

6. 広報活動

情報提供サービスとして、希望する会員に対してメールニュースを発行し、住民参加型在宅福祉サービス団体の活動の支えとなる情報を提供していきます。

7. 関係機関との交流

各会議等への参画や関係機関との連携を通し、住民参加型在宅福祉サービスの役割や意義への理解を広める。

- (1) 「新地域生活支援構想会議」に参画します。
- (2) 「広がれボランティアの輪」連絡会議に参画します。
- (3) 「広がれ、こども食堂の輪！」推進会議に参画します。
- (4) 食事サービスや移動サービス等、住民主体による支え合いのサービスを推進する関係機関との連携を行います。